

乙川リバーフロント地区まちづくり主要回遊動線上における公民連携型エリアマネジメントイメージ図

基本構想を踏まえて、主要回遊動線上の集客ポイントを核としたマネジメントの単位となる空間的広がりを設定し、エリアマネジメントを構想する。

基本構想のエリアのゾーニング

：町界を単位とした性格分け（公民連携型、民間主導型、大規模投資型、小規模投資型）

エリアマネジメントのゾーニング

：人を動かすための拠点と軸線を核としたまとまり

4 伊賀川エリア

- ・岡崎公園と周辺（伊賀川、乙川右岸）との一体管理と活用
- ・民間によるエリアマネジメント体制

3 旧東海道エリア

- ・リノベーションまちづくりと家守によるエリアマネジメント
- ・歩行者空間の拡大と道路活用の社会実験
- ・シビコリニューアル
- ・セルビ跡地とプロムナードの有効活用
- ・りぶらの機能リノベーション

2 セントラルアベニューエリア

- ・交通体系の検討と社会実験
- ・歩行者空間の考え方
- ・公共空間（人道橋、中央緑道、籠田公園）のマネジメント体制
- ・かわしん跡地の活用
- ・ストリートデザイン

5 乙川エリア

- ・乙川河川敷、地先の利活用
- ・太陽の城跡地の利活用計画
- ・民間によるエリアマネジメント体制

1 駅前エリア

- ・民間によるエリアマネジメント体制
- ・北東街区事業者との連携
- ・駅ビル再開発

事業推進エリア

主要回遊動線

集客ポイント

1 駅前エリア

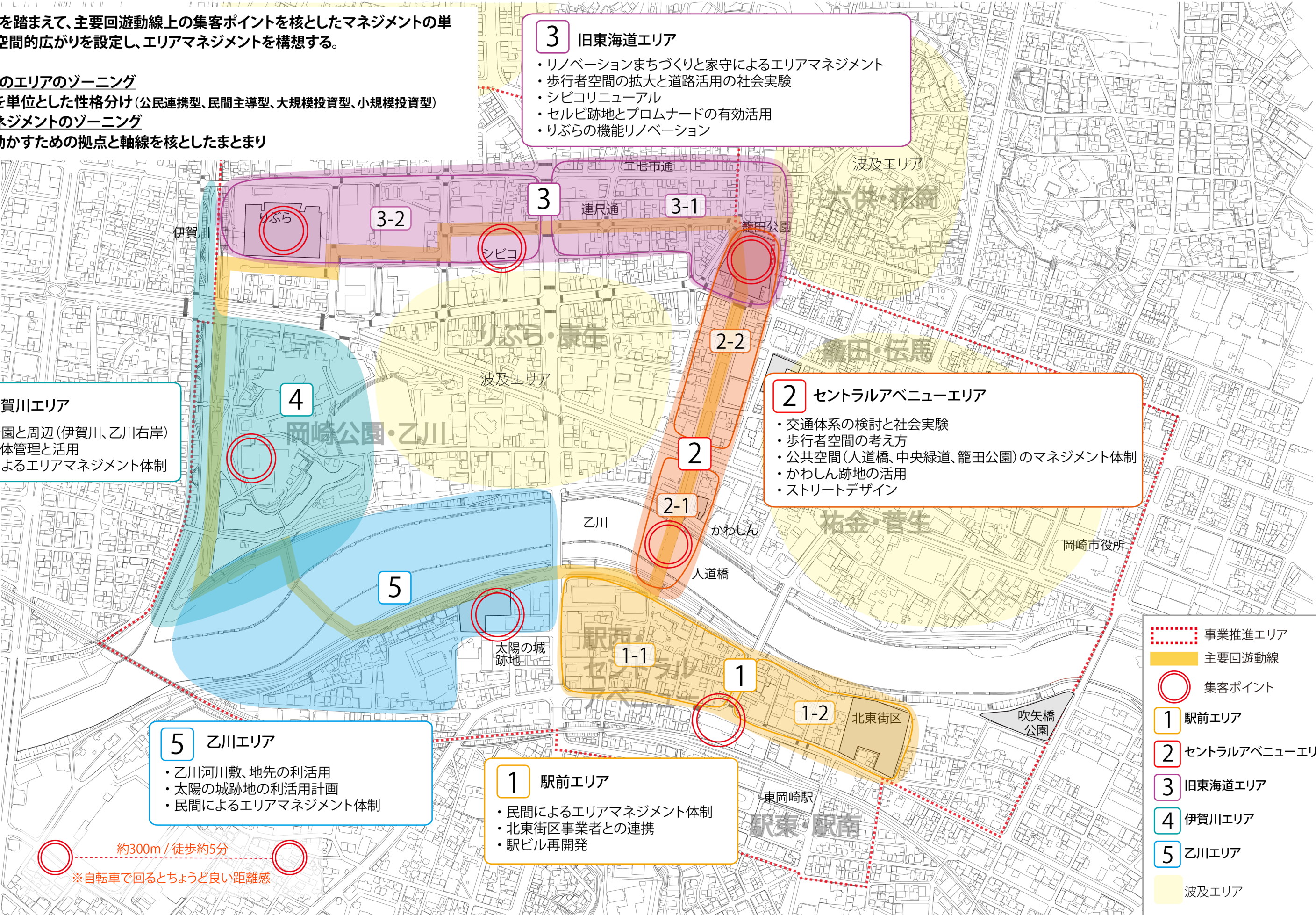
2 セントラルアベニューエリア

3 旧東海道エリア

4 伊賀川エリア

5 乙川エリア

波及エリア



約300m / 徒歩約5分
※自転車で回るとちょうど良い距離感